

実感

理解

実践

三百年記念館「エゾリスのくらし」

～エゾリスを通しておびひろの自然を考える～



講義

見学

体験



身近な野生動物であるエゾリス。実物資料を用いて正しく理解し、エゾリスが暮らしていく上で必要な環境を学びます。

ねらい



身近な生きものについて理解を深める
環境を大切にする心を育てる

場所 教室

季節 通年

人数 1クラス程度

所要時間 45分

対象 小学生以上

申込期限 2週間前まで

連絡先

帯広市教育委員会 生涯学習部 生涯学習文化室 百年記念館
電話：0155-24-5352 FAX：0155-24-5357
E-mail：museum@city.obihiro.hokkaido.jp

実感

理解

実践

関連単元【例】

学年	科目・領域等	内容
小学校	総合学習	○身近な環境問題に関する調べ学習
	道徳	○生命尊重 ○自然愛、環境保全
中学校	理科	○生物と環境

ながれ

導入 (5分)

勉強する「ある生きもの(エゾリス)」について

まず帯広に住んでいる「ある生きもの」についてクイズを出します。身近な生きものだけでなくあまり知られていないエゾリスについて「一緒に勉強する」というスタイルで授業はスタートします。

展開 (30分)

エゾリスのくらしについて、はく製などの実物資料に触って理解

衣(10分) はく製や毛皮に触れて、エゾリスを身近に。
食(10分) 写真や実物資料を用いて、クイズ形式で学びます。意外な食べものも。
住(10分) すみかについて一緒に考えます。実際の巣も登場します。

『わくわく・楽しい』という気持ち子どもの興味を引きだすきっかけになることを期待して、実物資料に触れ、観察するという「体験」を重視しています。

まとめ (10分)

エゾリスが住みやすい環境とは？

小学校低学年には、エゾリスがどんな生きものかということを中心に、高学年には、エゾリスが住みやすい環境についてまとめをします。終了後は、質問や資料をもう一度見たり、触る時間を設けます。



「ある生きもの」とは？



実物資料に触れながら学習



エゾリスが住みやすい環境をみんなで考えます。

参加者コメント

○エゾリスのことをもっとしらべたい。(小2)
○エゾリスに触ったり、巣に手を入れたり、体験できたことも、学校ではできない貴重なことでした。(小2教諭)
○エゾリスのくらしを通して、子どもたちは自然環境を守っていくことの大切さを学ぶことができたと思います。(小3教諭)

持ち物

特にありません。
資料に触る場合があるので、事後の消毒・手洗いに配慮してください。

特記事項

○進行上「エゾリス」について勉強することは、子どもたちに絶対内緒にしてください。子どもたちには「帯広の生きもの」について勉強すると伝えてください。
○基本的に2人の職員で授業を行います。場合によっては担任の先生に手助けをいただくこともあります。担任の先生以外の見学も大歓迎です。
○ミニ百年記念館のプログラムには他に「アカゲラのくらし」があります。

このプログラムを活用した方へのオススメ！プログラム

- 【実感】2 ふれあい教室(動物園)
- 【実感】3 自然観察(帯広の森・はぐくむ)